

令和6年3月定例会

## 提案説明（2月26日提出分・当初予算）

令和6年2月26日提出、令和6年度当初予算案につきまして、提出議案に沿った形で説明します。

2月26日付で市ホームページに掲載しています令和6年3月定例会関連資料、「提案説明資料」により説明します。

1 ページ目「市議案第4号 令和6年度豊中市一般会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、

予算の総額を歳入歳出それぞれ1千844億2千391万8千円と定めるものです。

第2条 債務負担行為と第3条 地方債については、後ほど第2表及び第3表を用いて説明します。

第4条 一時借入金は、借入れの最高額を250億円と定めるものです。

2 ページ目、第1表 歳入歳出予算です。

内容については、7 ページ目、歳入歳出目別一覧表で説明します。

歳入歳出目別一覧表は、各会計の歳入歳出を、款・項・目の順番で令和6年度当初予算額・令和5年度当初予算額を比較した表であり、左に、各会計・歳入・歳出ごとに、通しの行番号を記載しています。この通しの行番号 何行目という呼び方で説明します。

まず歳入です。

8 ページ1行目の市税の予算額は、721億2千654万8千円、前年度当初予算比0.7%の減を見込んでいます。

個別の税目で説明しますと、2行目の市民税については、3行目 個人市民税が 11億3千165万2千円の減で、これはデフレ脱却のための一時的な措置として、所得税・個人住民税の定額減税を実施することを踏まえたものです。

4行目 法人市民税が 6億706万5千円の増で、法人の業績が回復傾向にあることを反映させたものです。

市民税全体で前年度比1.5%、

5億2千458万7千円の減を見込んでいます。

17行目の地方譲与税は、予算額23億9千327万円、前年度比2.6%の増、主に9ページ18行目の自動車重量譲与税の増を見込んでいます。

26行目からの各種交付金については、それぞれ令和5年度の決算見込みや国の地方財政計画などをふまえ、予算額を見込んでいます。

32行目の株式等譲渡所得割交付金は、予算額6億円で、前年度比25.0%の増を見込んでいます。

次に、10ページ35行目の法人事業税交付金は予算額9億5千万円で、前年度比33.8%の増、

38行目の地方消費税交付金は、予算額93億円で、前年度比6.0%の減を見込んでいます。

47行目の地方特例交付金は、予算額22億7千500万円、前年度比521.6%の増で、所得税・個人住民税の定額減税に伴う税収の減を補填する地方特例交付金の増を見込んでいます。

次に、11ページ52行目の地方交付税は、予算額116億円で、その内訳は、普通交付税が110億円、特別交付税が6億円です。

普通交付税は、新設される算定費目「こども子育て費（仮称）」による基準財政需要額の増加や、臨時財政対策債への振替額減少に伴う交付基準額の増加を見込み、地方交付税総額は前年度比25.1%の増を見込んでいます。

58行目の分担金及び負担金は、  
予算額15億5千742万1千円、前年度比6.3%の増で、  
主に、服部天神駅周辺地区整備に伴う土地区画整理事業費負担金の増によるものです。

12ページ65行目の使用料及び手数料は、  
予算額21億1千647万5千円、前年度比1.7%の増で  
令和6年4月1日を施行日として、法定外公共物管理条例を改訂予定であり、改定内容を踏まえた予算を計上していることが主な要因です。

82行目の国庫支出金は、予算額416億3千86万1千円、  
前年度比9.0%の増です。

うち、13ページ83行目の国庫負担金は、  
予算額354億1千792万9千円、前年度比5.4%の増で、  
主に、障害福祉サービス利用の増に伴う支給額の増や、令和6年度に児童手当を拡充することに伴う増によるものです。

次に、88行目の国庫補助金は、予算額61億3千968万4千円、  
前年度比35.0%の増で、  
主に、（仮称）児童相談所施設整備に伴う増によるものです。

14ページ101行目の府支出金は、  
予算額142億2千914万円、前年度比0.8%の増、  
うち102行目の府負担金は、予算額105億4千343万9千円、  
前年度比7.6%の増で、

国庫負担金と同様に、主に障害福祉サービス利用の増に伴う支給額の増によるものです。

次に107行目の府補助金は、予算額30億452万3千円、前年度比13.7%の減で、主に、新型コロナウイルス感染症対策事業が令和5年度に完了したことに伴う府補助金の減によるものです。

15ページ123行目の財産収入は、予算額5億7千710万1千円、前年度比32.5%の減で、主に、不動産売払収入の減によるものです。

130行目の寄附金は、予算額5億4千462万1千円、前年度比44.7%の増で、主に、企業版ふるさと納税による寄付額の増を見込んでいます。

次に、16ページ139行目の繰入金は、予算額86億4千861万円、前年度比48.1%の増で、主に、財政調整基金及び公共施設等整備基金からの繰り入れが増加したことによるものです。

17ページ160行目の諸収入は、予算額43億9千116万9千円、前年度比34.8%の増です。

18ページ180行目の市債は、予算額105億5千270万円、前年度比5.2%の減で、臨時財政対策債が減となったことや、公立こども園整備事業が減となったことに伴う市債の減です。

以上、19ページ189行目、一般会計の歳入合計は、予算額1千844億2千391万8千円、前年度比6.1%の増です。

次に、歳出です。

21 ページ1行目の議会費は、予算額6億6千343万1千円、前年度比0.9%の減です。

次に、4行目の総務費は、予算額190億4千471万9千円、前年度比17.2%の増です。

そのうち5行目の総務管理費は、予算額165億1千786万円、前年度比21.9%の増で、6行目、定年延長に伴う退職手当の支給額の増等による一般管理費の増が主な理由です。

23 ページ43行目の徴税費は、予算額14億8千766万6千円、前年度比10.5%の増で、主に人件費の増によるものです。

次に、49行目の選挙費は、予算額8千578万円、前年度比、77.8%の減で前年度に市議会議員選挙、大阪府知事及び府議会議員選挙の執行があったことによるものです。

24 ページ59行目の民生費は、予算額999億3千241万9千円、前年度比7.4%の増です。

うち、60行目の社会福祉費は、予算額209億9千381万6千円、前年度比8.9%の増で、主に、63行目 障害者福祉費の増によるもので、国庫負担金及び府負担金と同様、主に障害福祉サービス利用の増に伴う支給額の増が主な要因です。

次に、25 ページ78行目の児童福祉費は、予算額422億8千872万1千円、前年度比10.7%の増で、主に、26 ページ91行目 児童相談所整備費、(仮称) 児童相談所

施設を整備することによるものです。

95行目の生活保護費は、  
予算額191億5千629万9千円、前年度比1.7%の増です。

27ページ103行目の国民健康保険事業費は、  
予算額45億8千701万8千円、前年度比8.7%の増で、  
国民健康保険事業特別会計繰出金の増加によるものです。

107行目の後期高齢者医療事業費は、  
予算額62億8千425万6千円前年度比6.4%の増で、  
後期高齢者医療広域連合への負担金の増加によるものです。

次に、110行目の衛生費は、  
予算額133億425万8千円、前年度比15.2%の減です。

うち、111行目の保健衛生費は  
予算額83億9千438万1千円、前年度比25.4%の減で、  
新型コロナウイルスワクチン接種事業や新型コロナウイルス感染症  
対策事業が令和5年度をもって事業完了したことによるものです。

28ページ129行目の清掃費は、予算額49億987万7千円、  
前年度比10.7%の増で、主に、135行目のクリーンランド負担  
金が増加したことによるものです。

次に、29ページ136行目の労働費は、  
予算額2億5千202万4千円、前年度比17.0%の減で、主に、  
140行目 雇用対策費について、国から委託されていた雇用創出  
事業が令和5年度をもって終了したことによるものです。

141行目の農林水産業費は、予算額5千299万6千円、

前年度比0.7%の増です。

次に、145行目の商工費は、予算額5億3千930万7千円、前年度比23.4%の減で、主に、148行目 商工業振興費、消費喚起事業の減によるものです。

次に、30ページ151行目の土木費は、予算額120億5千978万4千円、前年度比1.8%の減です。

内訳について、152行目の土木管理費は、予算額4億7千982万3千円、前年度比33.9%の減で、主に、公共用地先行取得事業特別会計への繰出金の減によるものです。

158行目の道路橋梁費は、予算額37億5千853万円、前年度比9.3%の増で、162行目の道路橋梁新設改良費、千里地区歩路橋長寿命化事業の増が主な理由です。

31ページ168行目の下水道費は、予算額30億6千216万7千円、前年度比3.2%の減で、下水道事業会計への繰出金の減によるものです。

170行目の都市計画費は、予算額29億3千128万9千円、前年度比4.0%の増で、主に、177行目、公園整備費、公園整備事業の増などによるものです。

次に、179行目の住宅費は、予算額8億6千30万6千円、前年度比27.8%の減で、主に、182行目、住宅整備費、市営住宅整備事業の減によるものです。

次に、183行目の消防費は、予算額63億3千661万円、前年度比26.4%の増で、32ページ185行目の常備消防費において、令和6年4月から、5市での消防指令業務共同運用を開始す

ることによるものです。

次に、191行目の教育費は、  
予算額220億1千512万8千円、前年度比8.9%の増です。

うち192行目の教育総務費は、  
予算額66億1千347万1千円、前年度比33.2%の増で、  
33ページ201行目の小中一貫校整備費、(仮称)南校の建設に伴う増が主な理由です。

202行目の小学校費は、予算額75億4千466万6千円、  
前年度比2.7%の減で、  
主に、207行目の小学校施設整備費、長寿命化改修工事などの減によるものです。

次に、208行目の中学校費は、予算額40億9千788万9千円、  
前年度比1.6%の増で、  
主に、210行目の中学校教育振興費、学校の副教材等に係る保護者負担費を無償化したことによるものです。

214行目の社会教育費は、予算額37億5千910万2千円、  
前年度比8.8%の増で、主に、215行目の社会教育総務費、  
校庭開放の全校実施、小学校5・6年生を対象に実施する放課後学習支援、放課後こどもクラブの運営委託に係る経費などの増によるものです。

34ページ228行目の公債費は、  
予算額93億1千48万6千円、前年度比3.2%の増です。

232行目の諸支出金は、予算額8億6千275万6千円、  
前年度比38.9%の増で、主に、233行目の財政調整基金積立金の増です。



次に、35ページ237行目の予備費は、予算額5千万円、前年度と同額を計上しています。

以上、歳出合計は、先ほどの歳入合計と同額です。

36ページ目、第2表 債務負担行為です。

1段目、豊中市私立高等学校入学支度金貸付に対する損失補償以下、37ページにかけ、併せて30の事業等について、期間と限度額をそれぞれ定めています。

38ページ目、第3表 地方債です。

起債を行う事業等の起債限度額および償還の方法等について定めるものです。

6段目の人権平和センター事業、7段目の公立こども園事業  
39ページ、7段目の常備消防事業、8段目の災害対策事業、  
11段目の小学校管理事業、40ページ、2段目の中学校管理事業、  
最後の臨時財政対策債以外は、すべて建設事業に係る起債です。

一般会計は以上です。

\* \* \* \* \*

41ページ目、  
「市議案第5号 令和6年度豊中市国民健康保険事業特別会計予算」  
です。

第1条 歳入歳出予算については、  
予算の総額を歳入歳出それぞれ412億7千444万3千円と定める  
ものです。

第2条 一時借入金は、借入れの最高額を20億円と定めるもの

です。

予算の内訳について説明します。

45 ページ目、歳入です。

1 行目の国民健康保険料は、予算額 8 3 億 7 千 5 2 5 万円、前年度比 3. 0 % の増で、主に、保険料率改定によるものでございます。

次に、11 行目の府支出金は、予算額 2 8 2 億 8 千 2 5 6 万 5 千円、前年度比 0. 3 % の減、

15 行目の繰入金は、予算額 4 5 億 8 千 7 0 1 万 8 千円で、前年度比 8. 7 % の増、

46 ページ 18 行目の繰越金は、予算額 1 千円で、前年度比 100. 0 % の減です。

以上、歳入合計は、予算額 4 1 2 億 7 千 4 4 4 万 3 千円、前年度比 0. 4 % の増です。

48 ページ目、歳出です。

1 行目の総務費は、予算額 9 億 2 千 7 4 0 万 3 千円、前年度比 18. 7 % の増で、主にオンラインシステムの標準化に伴う改修費の増によるものです。

50 ページ 34 行目の国民健康保険事業費納付金は、予算額 1 2 3 億 1 千 4 2 6 万 7 千円、前年度比 1. 0 % の増で、大阪府が府内全体の医療給付費等必要額を市町村ごとに按分し、本市に示された額を納付するものです。

以上、51 ページ目、歳出合計は歳入合計と同額です。

国民健康保険事業特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

52 ページ目

「市議案第6号 令和6年度豊中市後期高齢者医療事業特別会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、  
予算の総額を歳入歳出それぞれ84億3千535万7千円と定める  
ものです。

予算の内訳について説明します。

55 ページ目、歳入です。

1行目の後期高齢者医療保険料は、  
予算額66億8千690万1千円、前年度比10.9%の増で、  
主に保険料率の改定によるものです。

次に、8行目の繰入金は、予算額14億5千425万4千円、  
前年度比11.2%の増です。

以上、56 ページ目、歳入合計は、  
予算額84億3千535万7千円、前年度比10.1%の増です。

58 ページ目、歳出です。

6行目の後期高齢者医療広域連合納付金は、  
予算額82億6千499万6千円、前年度比10.3%の増で、  
歳入の保険料収入と一般会計からの保険基盤安定繰入金等を合算し  
て広域連合に納付するものです。

以上、59 ページ目、歳出合計は歳入合計と同額です。

後期高齢者医療事業特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

60 ページ目

「市議案第7号 令和6年度豊中市介護保険事業特別会計予算」  
です。

第1条 歳入歳出予算については、  
予算の総額を歳入歳出それぞれ423億3千922万2千円  
と定めるものです。

予算の内訳について説明します。

64 ページ目、歳入です。

1行目の保険料は、予算額83億388万7千円、  
前年度比8.6%の増で、主に、保険料改定によるものです。

次に、7行目の国庫支出金は、  
予算額102億8千383万8千円、前年度比1.4%の減です。

66 ページ31行目の繰入金は、  
予算額70億8千495万5千円、前年度比3.9%の減です。

以上、67 ページ目、歳入合計は、  
予算額423億3千922万2千円、前年度比0.7%の増です。

69 ページ、歳出です。

11行目の保険給付費は、予算額397億294万1千円、  
前年度比1.2%の増で、主に、高齢化に伴う介護サービス利用の増  
及び被保険者数の増によるものです。

以上、73ページ目、歳出合計は歳入合計と同額です。

介護保険事業特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

74ページ目

「市議案第8号

令和6年度豊中市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、  
予算の総額を歳入歳出それぞれ1億551万7千円と定めるもので  
す。

予算の内訳について説明します。

77ページ目、歳入です。

9行目の母子父子寡婦福祉資金貸付金元利収入は、  
予算額3千141万8千円、前年度と同額を計上しています。

以上、歳入合計は、予算額1億551万7千円、  
前年度比27.3%の増です。

79ページ目、歳出です。

1行目の母子父子寡婦福祉資金貸付事業費は、  
予算額2千502万8千円で、前年比14.3%の減です。

次に、5行目の公債費は、予算額5千523万5千円、  
前年度比49.9%の増で、剰余金の一部を国に返還するものです。

以上、歳出合計は歳入合計と同額です。

母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

80 ページ目

「市議案第9号

令和6年度豊中市公共用地先行取得事業特別会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、  
予算の総額を歳入歳出それぞれ14億4千557万2千円と定める  
ものです。

第2条 地方債については、後ほど第2表を用いて説明します。

予算の内訳について説明します。

83 ページ目、歳入です。

1行目の財産収入は、予算額3億5千554万8千円、  
前年度比20.7%の減で、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区整備  
事業や服部天神駅周辺地区整備などに係る、一般会計での買戻しを  
行うためです。

次に、9行目の市債は、予算額5億6千220万円、  
前年度比34.5%の減で、公共用地先行取得事業の財源とするもの  
です。

以上、歳入合計は、予算額14億4千557万2千円、  
前年度比23.6%の減です。

85 ページ目、歳出です。

1行目の公共用地先行取得費は、  
予算額5億7千846万7千円、前年度比33.3%の減で、  
服部天神駅周辺地区整備及び神崎刀根山線整備事業における用地の  
先行取得などを行う予算を計上しております。

次に、8行目の諸支出金は、予算額5億9千467万円、前年度比26.0%の減で、一般会計による買戻しに伴う繰出金及び減債基金への積み立てによるものです。

以上、歳出合計は歳入合計と同額です。

86ページ目、第2表 地方債です。

公共用地先行取得事業の起債限度額を5億6千220万円に設定するとともに、償還の方法等について定めるものです。

公共用地先行取得事業特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

87ページ目

「市議案第10号 令和6年度豊中市財産区特別会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、予算の総額を歳入歳出それぞれ4億7千970万1千円と定めるものです。

予算の内訳について説明します。

90ページ4行目の財産収入は、予算額3億2千503万9千円、前年度比2075.5%の増で、主に、豊洲池の売却収入によるものでございます。

以上、歳入合計は、予算額4億7千970万1千円、前年度比189.7%の増です。

92ページ目、歳出です。

1行目の財産費は、予算額4億7千970万1千円、

前年度比189.7%の増で、主に、大字内田財産区費において、歳入予算で説明した豊洲池の売却収入を財産区積立金に積立てすることによるものです。

以上、93ページ目、歳出合計は歳入合計と同額です。

財産区特別会計は以上です。

\* \* \* \* \*

続いて、公営企業会計について説明します。

94ページ目

「市議案第11号 令和6年度豊中市病院事業会計予算」です。

第2条 業務の予定量は、患者数44万8千94人の見込みです。

95ページ下段の第5条 債務負担行為は、病院情報システム再構築業務ほか2事業について、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

96ページ目、第6条 企業債については、記載の表のとおり、施設改良事業等に充てるための起債の限度額、償還の方法等について定めるものです。

98ページ目、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2行目の病院事業収益は、予算額236億4千20万円、前年度比2.1%の増で、主に、3行目医業収益にかかる5行目外来収益の増によるものです。

99ページ目、収益的支出です。



2行目、病院事業費用は、予算額235億4千803万5千円、前年度比2.6%の増で、主に、4行目の給与費及び5行目の材料費の増によるものです。

100ページ目、資本的収入です。

2行目の資本的収入は、予算額18億3千958万5千円、前年度比37.2%の減で、3行目、建設改良事業に充てる企業債の減によるものです。

101ページ目、資本的支出です。

2行目の資本的支出は、予算額30億2千666万9千円、前年度比18.8%の減で、5行目の院用備品購入費が減額となったことによるものです。

病院事業会計は以上です。

\* \* \* \* \*

102ページ目

「市議案第12号 令和6年度豊中市水道事業会計予算」です。

第2条 業務の予定量は、給水戸数18万140戸、年間総給水量4千236万7千792立方メートルの見込みです。

103ページ下段の第5条 債務負担行為は、配水管増補改良事業ほか2事業について、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

104ページ目、第6条 企業債については、記載の表のとおり、配水管増補改良事業等に充てるための、起債の限度額、償還の方法等を定めるものです。

第7条 一時借入金は、借入れの限度額を10億円と定めるもの

です。

106 ページ目、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2 行目の水道事業収益は、予算額 8 億 6 千 3 4 1 万 9 千円、前年度比 3.8% の増で、主に 4 行目の給水収益の増によるものです。

107 ページ目、収益的支出です。

2 行目の水道事業費用は、予算額 7 億 7 千 6 3 4 万 3 千円、前年度比 0.1% の減で、主に 4 行目の原水及び浄水費などの減によるものです。

108 ページ目、資本的収入です。

2 行目の資本的収入は、予算額 2 億 4 千 7 9 7 万 9 千円、前年度比 20.5% の減で、主に、3 行目の企業債の減によるものです。

109 ページ目、資本的支出です。

2 行目の資本的支出は、予算額 4 億 7 千 5 1 3 万 2 千円、前年度比 15.3% の減で、主に 6 行目の施設整備事業費の減によるものです。

水道事業会計は以上です。

\* \* \* \* \*

110 ページ目

「市議案第 13 号 令和 6 年度豊中市公共下水道事業会計予算」です。

第 2 条 業務の予定量は、処理可能区域戸数 1 8 万 1 3 3 戸、年間総処理水量 6 千 8 6 9 万 3 千 8 2 0 立方メートルの見込みです。

1 1 1 ページ下段の第 5 条 債務負担行為は、流域下水道終末処理場建設受託事業（雨天時汚水処理土木工事等）ほか 4 事業について、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

1 1 2 ページ中段の第 6 条 企業債については、記載の表のとおり、管渠築造事業等に充てる起債の限度額、償還の方法等を定めるものです。

第 7 条 一時借入金は、借入れの限度額を 1 0 億円と定めるものです。

1 1 4 ページ目、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2 行目の下水道事業収益は、予算額 1 5 6 億 6 千 7 8 5 万 1 千円、前年度比 3. 4 % の減で、主に 6 行目の流域下水道原田終末処理場受託管理負担金収入の減によるものです。

1 1 5 ページ目、収益的支出です。

2 行目の下水道事業費用は、予算額 1 5 0 億 6 千 1 7 8 万 1 千円、前年度比 8. 3 % の減で、主に 8 行目の流域下水道原田終末処理場受託管理費の減によるものです。

1 1 7 ページ目、資本的収入です。

2 行目の資本的収入は、予算額 2 9 億 3 千 7 6 9 万 4 千円、前年度比 1 3. 1 % の減で、主に 3 行目の企業債及び 4 行目の国庫補助金の減によるものでございます。

1 1 8 ページ目、資本的支出です。

2行目の資本的支出は、予算額62億2千970万円、前年度比3.5%の減で、主に5行目の庄内終末処理場建設費の減によるものです。

公共下水道事業会計は以上です。

\* \* \* \* \*

以上、議案に沿って10の会計の当初予算案の説明となります。